

象の鼻テラス運営団体の社用パソコンの盗難について

横浜市との委託契約により運営している象の鼻テラス（運営団体：株式会社ワコールアートセンター）の再委託先の事業者が、電車内で社用パソコンが入った荷物の盗難に遭う事案が発生しました。

社用パソコンにはパスワードが設定されていましたが、主催イベントの参加団体等の施設関係者の個人情報ハードディスクに保存されていたため、これらを漏えいさせたおそれがあります。

関係者の皆様には御心配・御迷惑をおかけすることとなり申し訳ございません。

1 経緯

10月28日（金）	9時頃	通勤途上の電車内で当該事業者の荷物が盗難に遭う
	9時13分	象の鼻テラス施設長に連絡
	9時30分頃	交番で盗難届提出
	14時15分頃	象の鼻テラスから横浜市に連絡
～11月8日（火）		運営団体社内にてITガバナンス部門を中心に件数、パソコンのセキュリティの状況等の確認
11月9日（水）～10日（木）		運営団体よりパソコン内に個人情報が格納されていた全ての方への連絡及び謝罪

2 パソコン内に格納されていた個人情報等

- 「ダンス縁日※」等の参加団体の代表者の氏名、住所、メールアドレス及び電話番号
- 「ZOU-SUN-MARCHE※」出店者の氏名、住所、メールアドレス、電話番号及び振込用銀行口座番号
- 象の鼻テラスの運営に関する事業者の担当者情報（警備会社、設備関係、イベント運営会社等）

合計 518名（内訳（1）152名、（2）302名、（3）64名）

※象の鼻テラス主催の自主企画事業

3 盗難に遭ったパソコンのセキュリティの状況

- ログインパスワードを設定しています。
- 事案発生のおよそ2時間半後（10月28日（金）11時30分頃）に、運営団体の社内イントラネットの共有フォルダ及びメールへアクセスする際に、（1）のログインパスワードとは別のパスワードを求める設定を、運営団体において行いました。なお、設定が行われるまでの2時間半の間に社内イントラネットへの不正なアクセスは確認されていません。
- ハードディスクに保存されたデータについては、パスワードが設定されたものと設定されていないものが混在しています。
- 現状では漏えいの事実は確認されていませんが、当該パソコンが発見されていないことから、漏えいの可能性がゼロと断定することはできません。

4 原因

- (1) 運営団体において、パソコンが盗難された場合にも、漏えいにつながらないような個人情報の管理が行われていませんでした。
- (2) 運営団体は、横浜市との契約に反して、横浜市の事前の承諾を得ずに、個人情報の外部への持ち出し及び個人情報を取り扱う事務の再委託を行っていました。

5 再発防止策

- (1) 横浜市の取組
 - ・運営団体に対し、委託契約に定められた個人情報の取扱いを徹底するよう指導しました。
 - ・運営団体に対し、持ち出し可能な媒体に個人情報を保存しない等、個人情報に関するリスク管理の徹底を指導しました。
- (2) 運営団体の取組
 - ・パソコン内にはデータを置かず、ファイルサーバに保存する運用とします。
 - ・パスワードの二重化・強度の見直し等セキュリティ対策を強化します。

6 象の鼻テラスについて

横浜市文化観光局の委託により、株式会社ワコールアートセンターが施設管理運営、文化芸術事業を行う文化観光交流拠点です。

- ・所在地 中区海岸通1丁目
- ・開館 平成21(2009)年6月
- ・利用者数 400,299人(令和3年度)

※株式会社ワコールアートセンターは平成21(2009)年の開館より本施設を運営しています。

お問合せ先		
文化観光局創造都市推進課担当課長	倉持 知子	Tel 045-671-2277